



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2017 **1**



12月3日(土)、JF兵庫漁連とコープこうべは、「豊かな森が豊かな海を育てます」を合言葉に森づくりを行う、「虹の仲間で森づくり」を雌岡山(神出神社)にて開催、160人が参加しました。NPO法人「ひょうご森の倶楽部」活動リーダーによる指導のもと、除伐作業を行いました。(関連記事P.16)



兵庫県生活協同組合連合会 会長理事

## 本田 英一

(ほんだ・えいいち)

## 「エピソード」の発掘

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、よき新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

さて、私は「糖質制限」を始めました。ご飯やパンなど糖質の摂取を抑え、肥満や糖尿病など生活習慣病のもとを断つためです。これまでの「食事はおいしくバランスよく、自然体が一番」という姿勢を、大きく転換したわけです。一昨年末に65才になり、昨年の年頭には「人生の成熟期を飄々と生きる、そういう老人をめざそう」と思ったものの、この一年間を振り返ると、日々の生活に様々表れる「若い」に、その都度「驚いたり」「嘆いたり」「抵抗したり」する毎日です。「かの国」でも、「自分たちの生活が苦しいのは、すべて外国のせいだ」と声高に叫ぶ人がリーダーに選ばれるという、思いもしなかった事が起こりました。私の人生も、世界の動きも、なかなか思う様にはいかないようです。

さて、新しい年2017年、団塊世代が後期高齢者になる、いわゆる「2025年問題」まで残り9年になりました。高齢化によって認知症の発症率や身体的介助度が高くなるのは避けられません。しかし、そういう中でも、すべての人が「尊

厳」を持って生き、そして終末を迎えられる、そんな社会でありたいものです。その実現に向けて、全国の生協の、そして我が兵庫県生協連の仲間の中でも、さまざまな取り組みが始まっています。しかし、その進め方に、模範や定石があるわけではありません。まずはあらゆる事をやってみる、今は、まさに「試行錯誤」の時期だと思えます。そして、その成果の共有のためには、「エピソード（よく知られていない興味ある事）」の発掘が有効です。特に、最終に日の目を見なかった取り組みにまつわるエピソードは、次のステップに向けて知恵の宝庫ではないでしょうか。

この2017年、個人では「糖質制限」の効果の見極めを、組織人としては「尊厳ある社会づくり」に向けた「エピソード」の発掘が、あちこちで取り組まれるよう、今年も昨年と同様、しっかりと「もがいて」いきたいと思えます。どうぞよろしく願います。



## CONTENTS

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 2. 想点                                 | 16. 兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」報告／「虹の仲間森づくり」報告／       |
| 3. 会員生協・今年の抱負                         | 17. 第15回税務・経理講習会のご案内／「ひょうご消費者セミナー2016」のご案内   |
| 13. 第4回理事会 報告／兵協連「保健・医療・福祉研究会」施設見学 報告 | 18. 協同組合のかけ橋                                 |
| 14. 単協通信 神戸医療生活協同組合／宝塚医療生活協同組合        | 19. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓                           |
| 15. 単協通信 甲南大学生生活協同組合／「フェニックス共済」のお知らせ  | 20. 「平成28年度地方消費者フォーラム in ひょうご」のご案内／県連日誌／編集後記 |

# 2017年 今年の抱負



## 新しい年を迎え、思うこと

私がコープこうべに職を得たのは、1981年、今から36年前のことです。当時は高度経済成長期に続くバブル期。給料やボーナスが毎年上がるのは当然だと、誰もが考えていた時代だったと思います。1990年代の初めにバブルが崩壊するのですから、既にその頃、経済や社会のひずみは出ていたはずが、今思うと何とも地に足のつかない暮らしを、豊かさ、と勘違いしていたわけです。

阪神・淡路大震災後にコープこうべに入所した職員からは、入所してから今まで、ボーナスの支給月数が上った記憶がないという話をよく聞きます。本当に申し訳ない気持ちがありますが、ことほど左様に、この30数年間に、経済も社会も私たちの暮らしぶりも大きく変わってきたわけです。

そして今、日本だけでなく世界のあちこちで政治のあり方が変化してきています。昨年コープこうべでは憲法について学習会を行ったのですが、その中で最も心に残ったのは「歴史に学ぶ勇気を持つ」という講師の方の言葉でした。

新しい年は色々な意味で激動の年になりそうな予感がありますが、今こそ私たちは、自立した消費者・生活者として、歴史に学び判断し行動するときではないでしょうか。そして平和で、本当の意味で豊かな社会を、次の時代を担う人たちに引き継ぎたいと心から願います。



生活協同組合コープこうべ  
常務理事

山添 令子

## 30周年を終え、次の中期計画策定へ

新年あけましておめでとうございます。

2016年は、設立30周年として記念の企画をいくつか開催しました。それらを通して、構成員である組合員・職員は、「私の生協」生活クラブ都市生活」を再認識することができました。同時に、「地域のおおぜいの人に「私の生協」生活クラブ都市生活」を知らせていくことにもつながりました。

2017年度は、第2次中期計画の策定と並行し、初めてとなる「福祉政策」を議論し、まとめる予定となっております。当事者として次の5か年を担う中心世代のたくさんの方の構成員が関わる形で、30周年事業を通して、それぞれがとらえた「私の生協」が、次の5か年の中でどのような姿になっていきたいのか、どのようなことに取り組んでいくべきかをしっかりと議論していきたいと思えます。

基本は、生活協同組合として、地域の人と人のつながりを活かし、Food(食)、Energy(エネルギー)、Care(福祉)の自給ネットワークを創り出すことにあります。それには、県下の協同組合の皆さんとの連携は不可欠です。本年もどうぞよろしくお願ひします。



生活クラブ生活協同組合  
都市生活  
専務理事

角田 学

## 新センターを地域の拠点に



生活協同組合  
コープ自然派兵庫  
専務理事

前田 陽一

新年あけましておめでとうございます。

コープ自然派は、未来を担う子どもたちに豊かな自然を残し、安全な食べ物を守るため、生き物を育む田んぼの取り組みをすすめています。コープ自然派兵庫では、日本の先進地域である豊岡市（コウノトリ育むお米）、神戸市西区の都市と農村の共生をすすめる田んぼの2か所で10年近く生き物調査を行ってきました。2016年度は、西区の田んぼで、田んぼと周辺水路を自由に生き物が行き来できる水田魚道の設置が実現。さらに、たつの市の田んぼでも生き物調査を開始、県内3つの地域で生き物を育む田んぼを拡げる取り組みをすすめています。また、総代会の特別決議に基づき、原発再稼働問題や、重大事故発生時の内部被ばくへの対処について学ぶ連続講演会を開催し、多くの組合員が参加しました。2017年度は生協認可から15周年を迎える節目となります。1月下旬には、本部・神戸センターを現在のコープ自然派事業連合の併設事務所から約1.5km南の同じ団地内に新築移転します。組合員活動室も設置し、事業伸長を支える基盤づくり、地域の活動拠点としても機能するセンターづくりを進めたいと思います。

## 協働組合の発展をめざして



生活協同組合連合会  
コープ自然派事業連合  
理事長

神野 利夫

あけましておめでとうございます。

2016年は、英国のEU離脱、トランプ氏の米大統領選出など、民意が反グローバル、格差是正の意志を示したといえることが続きました。競争重視のグローバル企業は、往々にして地域経済の成立を顧みません。結果、地域は疲弊し、国家間、階層間の格差が急激に拡大しています。行き過ぎたグローバルに「NO!」は、下層に追い詰められた人々の叫びと捉えられます。

私たち協同組合の活動は、格差是正、地域経済重視を指向しています。なぜなら地域コミュニティが経済的に成立しなければ、協同組合の事業が成り立たないからです。今こそ協同組合の存在意義が問われているといえます。

コープ自然派は、「国産派宣言!」のもと、「日本の環境保全型農業・水産業を応援する」とし組合員とともに、国内一次産業の発展を目指しています。地域経済の安定的な発展において、一次産業はとても重要な位置を占めます。中でも持続可能な環境保全型一次産業の取り組みが、今後の地域経済の核となるでしょう。コープ自然派では、2016年7月より「(株)コープ有機」を設立し有機農業の取り組みにより注力しているところです。

地域経済の発展において、協同組合がなくてはならない存在として認知されるよう、様々な活動されている皆さんとともに取り組みたいと考えています。

## 市役所生協としての取り組み



西宮市職員生活協同組合  
事務局長

山西 元

新年あけましておめでとうございます。

昨年4月の熊本地震、そして、10月の鳥取県中部地震により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当生協は、兵庫県下唯一の市役所生協として、組合員である西宮市職員への福利厚生のため、サービスの提供に努めています。

日本経済は政府主導の経済政策により、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費の拡大につながっておらず、当生協は供給高や手数料の減少等で、厳しい運営を強いられています。

そのような状況ではありますが、市役所生協という特色を活かし、西宮市や職員互助会との連携を強化した事業を継続して進めてまいりました。市の観光キャラクター「みやたん」をプリントしたポロシャツやウインドブレーカーの販売、市が職員を長期派遣している宮城県女川町で水揚げされた「生さんま」のあっせん、そして、毎年秋に開催している生協祭では、福引の景品に東北の名産品に加えて、熊本のお菓子も活用しました。

今年も、組合員に多数利用してもらえよう、市の施策に関連する様々な事業に取り組みさせていただきますよう、西宮市の関係部局や互助会との連携をさらに深め、存在意義を高めていく努力を行ってまいりますので、ご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

## 初心忘れるべからず



神戸大学生協同組合  
専務理事

坂本 安弘

新年明けましておめでとうございます。専務理事に就任し、早2年が経とうとしています。振り返れば本当に悔いなく、やるべきこと、やらなければ本當に悔いなく、取り組めたのだからと、思いを巡らせております。

国立大学は昨年から引き続き、非常に厳しい環境となっております。大学内で活動・事業を行なう大学生協もまた厳しい局面を迎えています。

先般、学生組合員と話をした際に、「生協も組合員に頼ってください」と進言され、はっとしました。一方通行ではなく、双方向からのアクションが必要なのでは……。

煩雑な日々を送る中、大切なことを忘れてしまっていたようです。

まだまだできることは沢山あるはずですが。

2017年、このような厳しい中でこそ、初心に立ち返り、本来の生協が果たすべき役目を見失うことなく、一人一人の組合員に寄り添えるように尽力します。

本年も皆様のお力添えを頂きますよう何卒よろしくお願い致します。

## 新年の抱負



関西学院大学生協同組合  
専務理事 /  
大手前大学生協同組合  
専務理事

高橋 秀行

新年明けましておめでとうございます。相変わらず景気の回復が感じられない昨今ですが、こんな時にこそ改めて協同組合の「良いところ」を確認して、肝に銘じたいと思います。

「協同組合のアイデンティティに関するICCA声明」に書かれている「協同組合の価値」曰く、「協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。」

私がとりわけ好きなのは、「正直」や「他人への配慮」という言葉で、こういう「良さ」を持つ組織で働いていることを誇りに思います。

ここ数年、組合員が自ら「生協の価値」「良さ」に気づき、生協への関わりを深めていく事例が確実に増えています。それに比べ、こちらからそれらを伝え働きかける努力がまだまだ不足していると思います。

組合員に伝え働きかけるためには、標語も大事ですが「価値」「良さ」が実体となったモノゴトを提供していかなければなりません。これを今年の課題にしたいと考えています。

今年もご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

## 2017年を迎えるにあたり



神戸市外国語大学  
消費生活協同組合  
専務理事

衛藤 昭二

新年明けましておめでとうございます。今年も神戸市外国語大学生協をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は神戸市外国語大学が創立70周年を迎え、記念式典や学会の開催、模擬国連世界大会が日本で初めて開催されるなど、大学および生協にとっても数十年に一度の記念すべき年でした。また、生協も創立50周年を迎えた年でもありました。大学との協体制をより確実なものにできた年になり、生協にとっても50周年にふさわしい年であったと思います。

今年も昨年ほど大きな行事は予定されておりませんが、大学や学生組合員にとって生協がより必要な組織であり続けたいと考えています。

大学の教育方針が「広い国際的視野に立つて活躍できる人材を養成する」ということと、文部科学省が「トビタテ！留学JAPAN」という取り組みを行っている関係もあり、大学では留学をより一層推進している中で、外大生の留学は過去にない人数になっており、もはや留学は当たり前の時代になっています。急激に増えた留学業務に対して、昨年より一部業務の生協委託も開始され、生協にとっては新しい分野への挑戦となりました。生協にとっても次の「新たな50年」となるような路線作りを行っていきたいと思います。今後とも皆様のご指導・ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



甲南大学生生活協同組合  
専務理事／  
神戸薬科大学生活協同組合  
専務理事

内田 真紀子

## 新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。  
本年もどうかよろしくお願ひいたします。

甲南学園では2019年の学園100周年に向けて、今年9月に大規模な新施設の竣工が予定されています。

甲南大学生生活協同組合もこの5年間、岡本キャンパスでの店舗の改装や新店舗、仮施設の運営など多くの変化を越えてまいりました。この5年間は、私たちに生活協同組合の存在価値を振り返ることができる貴重な期間となりました。

組合員のニーズは日々変化し、毎日多くの情報が錯綜しています。その中で選ばれる立場になるという事の本質は、組合員が本当に求めているものを選び取りと捉えられているか、組合員が求めているものよりも、自分たちの組織としての都合を優先してしまっていないか。常に問い続けることだと感じています。

新しい施設では、生活協同組合以外の資本会社と協力し、今までにない、新しい店舗の運営が多く予定されています。

新しい施設、恵まれた環境に甘えることなく、この変化を共に歩んでくれた180人以上のスタッフと共に、組合員に期待をされ続け、その期待に応え続けられる組織として改めて気を引き締めて活動に取り組んで参りたいと存じます。

今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



兵庫県立大学生生活協同組合  
専務理事

藤井 貴浩

## 龍騰鳳鳴

あけましておめでとうございます。本年も皆様にとつて良き年となるよう祈念いたします。

世界中でさまざまな価値観が交錯しています。わたしたち協同組合として、どうあるべきなのかがまさに問われていると感じます。

今春のタイトルは、沸き返るような活気に満ちている様を表すものです。変化の先にある一筋の光明に向け、一直線に進んでいきたいという思いを新たにしています。

大学生協では昨秋、京都・滋賀・奈良地域及び北陸地域の各事業連合組織と合併し、新たな連帯組織を結成しました。

われわれの職域である大学・短大・高等専門学校は、いわゆる18歳人口の減少や運営交付金、研究費の削減など、とてつもない嵐が吹き荒れています。その中でわれわれ大学生協がいかに存続し続けるか、嵐に飛ばされることなくしっかり立ち続け、組合員と向かい合うことができるかが問われています。

「大学になくはならない生協」という光明に向けて、より一層精進して参ります。

今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



神戸親和女子大学  
生活協同組合  
専務理事

坂本 安弘

## 設立25周年を迎えるにあたり

新年明けましておめでとうございます。

親和女子大学生協は今年で設立25周年を迎えます。設立から現在まで、生協を取り巻く環境はかなり変化しております。

少子化に伴う入学者数の減少、民間業者（カフェ）の学内参入、そして図書館運営の業者委託。

非常に厳しい状況が、今後も続くものと思われる。

ただ、そのような厳しい中でも、厨房の改修や生協電子マネーの導入などの進展により、少しずつではありますが組合員の利便性が向上しています。

時代や環境が変化しようとも、設立当初からの「組合員のために」の精神を胸に、本年もスタッフが一丸となり、親和生の笑顔の為に頑張つて参ります。本年も皆様のご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い致します。

## 新年の抱負



園田学園女子大学  
生活協同組合  
専務理事

大須賀 修

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

昨年の5月に専務理事として選任され、不慣れな業務に四苦八苦し、現在もまだその延長線上にあります。

2017年は見えてきた『強み』や『弱み』を活用し、組合員の方により多く利用いただけるよう様々なことを仕掛けてゆきたいと思えます。

まずは、来店される組合員に対しての「挨拶」の励行や「気持ちよく店舗を利用していただく」ための清掃を引き続き徹底させて、生協に入っただけ良かったと思っただけのようなお店作りを目指したいと考えています。

また、求められる衛生管理水準が日々厳しくなる中、設立から20年を超えた食堂施設や備品類に老朽化が目立ってきています。

大学から信用していただける健全な経営を維持しながら、衛生管理を維持して安心安全な食事を組合員に提供するため、施設・備品の更新について学園法人に提案してゆけるよう準備してゆきたいと思っ  
ています。

本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

## 2017年の抱負



甲南女子大学生活協同組合  
専務理事

塩田 恵美

あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。

甲南女子大学では、2016年に看護リハビリテーション学部が学部開設10周年を迎えました。2018年にはまた新たに学部を開設予定になっており、新校舎も2017年12月竣工予定として準備が始まっています。新しい校舎、新しい学部ができることで、学生がまた元気に活発になることを期待するとともに、学内の福利厚生も新たな局面を迎えることとなり、大学生協としてより一層精進しなければならぬと身の引き締まる思いです。2020年の学園の100周年も目前に迫り、大学はこれからも新しいことに向かっていきます。その中で、大学生協も大学内の在り方について繰り返し考え、立ち直り、大学とともに一歩を踏み出していけるよう、しっかりとスタッフと準備をしてまいります。

昨年は甲南女子大学生活協同組合の設立20周年ということもあり、今までを振り返り、感謝を伝える一年となりました。今まで取り組んできたことを大切にしながらも、新たな変化にも意欲的に取り組み、楽しみながら、また今年も一歩一歩、歩みを進めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 新年を迎えるにあたって



神戸市立工業高等専門学校  
生活協同組合  
専務理事

中川 一穂

明けましておめでとうございます。旧年は大変お世話になりました。本年も何卒、宜しくお願い申し上げます。

神戸高専生協は2007年に学生・教職員の学内の福利厚生の充実に願う気持ちにより設立され、今年10年を迎えます。私自身は設立から3期理事長を務め、2014年5月から専務理事として再び運営に携わっています。

この間、事業も拡大し供給高も順調に伸長してまいりましたが、日頃より方針として掲げている「学  
校組織の一員としての生協のあり方」については引き続き課題として取り組みを進めていかなければなりません。昨年同様様々な場面で学校との協業を行って参りましたが、今後より一層、協力体制の強化に力を入れて参る所存です。

設立から10年を迎える今年に改めて原点に立ち返り、理事会、生協職員、学生委員会が一丸となり、組合員や学校との関わり方を今一度考えていきたいと思ひます。

今後とも、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

## 新事業連合の発足



生活協同組合連合会  
大学生協同組合  
関西北陸事業連合  
専務理事

末松 泰信

新年あけましておめでとうございます。

昨年9月1日を持って、阪神事業連合は、京都事業連合・北陸事業連合と3者が合併し、「関西北陸事業連合」が発足致しました。この3つの事業連合は、4年の歳月をかけて、事業連携による経営数値・事業レベルの向上をはかることを目的に機能統合を行い、その成果をもとに、更なる連帯構造を構築するために合併を果たし、兵庫・大阪・和歌山・京都・奈良・滋賀、石川・福井・富山の9府県の49会員生協の事業運営を支援することとなりました。

さて、若者の人口減少に直面し始めた今日、一人あたりの利用を高めることも大事ですが、将来的には組合員数を増やしていくことが至上命題であると捉えています。そのためには、生協のまだない大学に設立を支援することに加え、県下の生協組織と相互連携することでの効果に大きな期待をしています。事業連合は広域になりましたが、地域に根差した組織であることには変わりませんので、変わらぬご指導ご鞭撻頂きますよう、本年もどうぞよろしくお願致します。

## 安心してくらせる まちづくりをめざして



神戸医療生活協同組合  
理事長

道上 哲也

新年あけましておめでとうございます。

昨年、神戸医療生協は創立55年を迎えることができました。これまでの歩みをふりかえり、これからも「いのちの平等」を大切に事業と運動をすすめていきたいと考えています。本年も何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

地域包括ケアシステムの導入がすすめられ、医療・介護制度が大きく変わろうとしています。地域のニーズにあった、医療と介護の提供体制をどうつくりあげていくのか、そのことに医療生協が事業と運動をつうじてどのように関わっていくのが課題です。地域での困りごとを組合員と職員力で解決するため「虹のサポートセンター」を開設しました。医療・福祉をはじめ、地域とくらしの拠点となり、安心してくらせるまちづくりに組合員と職員が力をあわせてとりくみ、神戸医療生協らしい「地域包括ケア」を実現するために努力してまいります。

本年が組合員をはじめ、皆様にとって充実し、吉事が重なるよい年であるよう祈願し、新年のご挨拶といたします。

今年もよろしくお願ひします。

## 日本の方向性を見定めるべき時



尼崎医療生活協同組合  
理事長

船越 正信

新年明けましておめでとうございます。

昨年は米国の大統領選挙のトランプショックで幕切れとなった感があります。これまで以上に一方的な要求を米国から押しつけられる可能性があります。

従来、何かに付け米国の顔色をうかがいながら、国の方針を決めるという姿勢と決別すべき時ではないでしょうか。真の主権国家として基地・安全保障問題、農業・通商問題等で、もつと堂々と日本の立場を主張すべきですが、どうして出来ないのか……。

東日本大震災から6年が経とうとしている現在も、復興とは程遠い現地の状況、福島原発事故から今なお多くの住民が避難生活を余儀なくされている現状。その一方で、東京オリンピックの準備、大阪万博の開催が叫ばれています。

今、本当に私たちが急ぐべき課題は何なのか。国に、世界に求めていくべきことは何なのか、私たちの為し得ることは何なのかをしっかりと見極めて、大きな連帯の力を抜け、地道な一歩を踏み出す、極めて重要な時期のように思われます。





阪神医療生活協同組合  
専務理事

蓮見 克也

## 新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

阪神医療生活協同組合は、昨年の総代会からより多くの組合員の声を集めて、地域づくりを最優先で取り組んで行く約束しました。理念に基づいた安心して暮らせる地域社会には、まだまだ課題が多いですが、組合員と共に取り組んで参りたいと思います。

2018年には医療と介護の同時改定を控えている今年こそ、生協として何にこだわっていくのかが重要だと思っております。まずは目の前の課題にひとつひとつ着実に取り組んでいきます。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしく申し上げます。皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。



宝塚医療生活協同組合  
理事長

脇野 耕一

## 医療生協らしい「まちづくり」

あけましておめでとうございます。

昨年11月、「宝塚医療生協ひだまり会館」が竣工し、高松診療所と「ひだまり4姉妹」くケアサポート（居宅支援）・訪問看護ステーションひだまり・デイサービスひだまり・ヘルパーステーションひだまりの5事業所が移転新築開業。武庫川河川敷に、来賓含め300名以上の組合員と職員が集い祝賀しました。私はあらためて高松診療所65年の歴史に思いを馳せ「平和こそたから」「健康こそたから」「地域の絆こそたから」として歩んできた故今井鐵先生はじめ諸先輩の道であったことを再認識しました。そして宝塚医療生協が一つとなり建設を支える出資金純増1億円運動に邁進しています。

宝塚市は、WHO「エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画案」を策定し、2017年度から2020年度までの4年間を計画推進期間として「お互いさま」があふれるまちづくりを目指し超高齢社会に対応しようとしています。

私たちが昨年6月、WHO国際HPH（Health Promoting Hospitals & Health Services）ネットワークに参加しました。世界と日本の取り組みを学びながら健康格差の減少と健康の不公平を改善する視点をもって宝塚市と協働したまちづくりを進め医療生協の役割をおおいに発揮したいと考えています。



姫路医療生活協同組合  
専務理事

黒岩 勝博

## 「その人らしく、気持ちよく生きる」 ことができる地域社会をめざして

新年明けましておめでとうございます。

昨年は通常総代会で法人理念を「その人らしく、気持ちよく生きる」に変更しました。地域包括ケア時代にふさわしく、「個人の尊厳」と「QOL（生活の質）の向上」を大切にしたいサービスの提供と地域社会の実現をめざすことを確認しました。

事業展開としては、2016年4月に定期巡回・随時対応サービス東部を開設するとともに、7月に福祉介護センターひがしを生協本部東隣りに移転し、機能強化をはかりました。

今年、姫路市北部地域の香寺町に、3月に福祉介護センター香寺（居宅介護支援事業所、訪問看護、訪問介護）、6月に小規模多機能ホーム香寺を開設予定です。また、姫路市西部地域の網干には4月に定期巡回・随時対応サービスあぼしを開設します。事業所数は、医科事業所3、介護事業所45、合計48事業所となります。

各福祉介護センター・事業所が、地域の34ある医療生協支部としっかり連携するとともに、行政や他団体との「顔の見える関係づくり」をさらに推進します。事業を通じた社会貢献をすすめ、超高齢社会「2025年問題」を乗り越えることをテーマに事業と活動をひろげ、希望ある未来を切り開いていくよう奮闘する決意です。



ろっこう医療生活協同組合  
専務理事

森本 浩

## 連携と協同による、 地域まるごと健康づくり

新年あけましておめでとございます。

昨年11月、私共は神戸市東灘区で、にじいろクリニックを開設いたしました。ろっこう医療生活協同組合の5番目の診療所です。午前は外来診療、午後は訪問診療の体制で、訪問看護ステーションの出張所も併設して、地域の医療と福祉に貢献したいと考えています。

このクリニックは、このたびご縁をいただいて、コープこうべさんのサービス付き高齢者向け住宅「コープはくとらんどハイム本山」の1階に入居させていただきました。ハイム本山さんは、高齢者向け住宅を軸に福祉サービスを複合的に提供し、地域の総合福祉拠点としての役割をめざしておられます。私共も、クリニックと訪問看護ステーションの事業を通して、しっかりと連携させていただきながら、入居者の皆さまをはじめ、地域の皆さまの福祉の向上に、微力ながら寄与したいと考えております。

さて、本年4月から神戸市では、要支援者が利用する介護保険サービス（予防給付）のうち訪問介護と通所介護について、市が地域の実情に応じた取り組みができる介護保険制度の地域支援事業「総合事業」に移行します。一支部一居場所づくりを進める組合員活動とともに、新しい総合事業に積極的に対応していきたいと考えています。

また、引き続き、東日本大震災をはじめとした被災地の皆さまに寄り添う活動にも取り組んでまいりたいと思います。



たじま医療生活協同組合  
副理事長

木下 和茂

## 日高病院ベッドゼロ化の計画阻止にむけて

新年明けましておめでとうございます。

昨年の総代会でたじま医療生活協同理事長に就任いたしました。それまでは外から医療生活協の活動を見てきたのが、今度は内側から活動を支える立場になったのですが、まだまだ分からないことばかりで、先輩理事の皆さんのお話を聞きながら勉強している最中です。

さて、たじま医療生活協の活動は地域医療に責任を持つことを中心に幅広いのですが、昨年からたじま地域で大問題になっている日高病院ベッドゼロ化問題について、ご報告致します。

豊岡市は昨年、公立日高病院の耐震化に伴う建て替えにあわせて日高病院の病院機能を見直すとし、医師不足を理由に99床ある入院ベッドをゼロにするという方針を打ち出しました。何の民主的根拠もない第三者委員会に諮問し、住民の意見を聞くことなく出されたその結論を市の方針とするというやり方です。たじま医療生活協は、まさに但馬地域の地域医療を守るという観点から設立された「地域医療をまもる但馬の会」の事務局となっており、昨春秋以降、反対運動の中心的役割を果たしてきました。まだ住民にあまり知られていなかったこの問題が広く知れ渡るに伴い、病院を守れという声が大きく広がることができました。にも多数が参集して反対決議を上げることができました。たじま医療生活協が中心となって集めた陳情書も当初の目標5000筆を大きく上回る6769筆を提出することができました。

地元の区長会の反対もあり、病院組合議会の議会運営委員会は12月議会への計画案の提案を見合わせることにになり、これに合わせて来年3月議会への日高病院の改築予算の提出も延期される見込みとなりました。運動が大きな成果を生んだといえますが、まだ計画を阻止できなかったわけではありません。計画阻止まで引き続き運動を強めて行く予定です。



ひまわり医療生活協同組合  
副理事長

三橋 徹

## 小さくされたものを 大切にすることを銘じて

新年を迎え、あらためて各生協の活動に敬意を表します。

当生協では昨年より他団体とともに子ども食堂の取り組みを始めました。ところで本表題の「小さくされたもの」とは、本来尊厳が認められ尊重されるべきものが他から小さくされているという意味で子どもに限りません。しかしながら、社会の貧しいところで力のない子どもが抑圧されることは続いています。世界の紛争地域では、日本が自衛隊を派遣した南スーダンをはじめ25万人以上の子どもが兵士にされ殺し殺される道具にされていると聞きます。親や他の子どもを殺させられ暴力を振るわれ命を軽んじられその子にとってまさに地獄絵図が続いているでしょう。2000年「武力紛争への子どもとの関与に関する子ども権利条約の選択議定書」が採択され2004年に日本も批准しました。しかし、日本では武器輸出三原則が見直され、軍需産業の国際見本市が開催され、現職防衛大臣の夫名義で軍需産業株が大量に購入され、それでもあまり問題にされませんでした。戦争に使われる武器が増えることが、非人道的な戦争や子ども兵士の地獄をなくすことにつながるのか。小さくされたものを大切にすることを銘じて考え訴えなければなりません。

## 神戸三社参り



神戸市民生活協同組合  
専務理事

岡田 勇

謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
新年は初詣によりその年の幸せを祈願することが昔からの日本の風習となっています。

神戸には多くの神社がありますが、その中でも縁結びの神様を祀る「生田神社」、楠正成公を祀る「湊川神社」、商売繁盛の神様を祀る「長田神社」の市内の主要三社を初詣で回ることを「神戸三社参り」と呼んでいます。

私も子供の頃からこの三社参りを正月の恒例としてきました。初詣は大鼓や笛の音が響く中、張り詰めた空気を感しながら、整然と進む参拝者の流れに合わせて参道をゆつくりと進み、本殿の前で一年の家族の健康などを神様にお願いをする厳かな儀式です。

数年前、除夜の鐘が鳴る大晦日の深夜に縁結びの神様を祀る生田神社に行きました。この神社は、繁華街にあるのと、十年近く前である芸能人カップルが挙式をあげたことでも認知度が上がりました。深夜にもかかわらず、若者、特にカップルが多く、神社周辺は大騒ぎです。古くからの初詣のイメージとはかけ離れた賑やかなイベントでした。

初詣に関する時代の変化があっても、災害のない、元気で明るい年になるよう、神戸三社に今年も変わらず祈念したいと思います。

## 地域活動を通して人の輪を広げる



尼崎市民共済生活協同組合  
理事長

本田 良生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、大正5年に尼崎市が誕生して100年を迎えました。多くのイベントが開催され賑わいのある一年でした。市制100周年記念日となる10月8日には記念式典が執り行われ私も出席させて頂きました。尼崎で生まれ育った私としては、100年という大きな節目に出逢うことができ、感動し大変嬉しく思っております。新たな気持ちでこれからも愛着のある地域との関わりを持ち続けて行かなければならないと自分なりに誓ったところです。

現在地域との関わりとして「富松むぎわら音頭研究会」を立ち上げ、昔富松の地域で踊られていた「むぎわら音頭」がどのような踊り方であったかを調べております。お陰様で地域の方のご協力を頂き振付作業も順調に進み、間もなく完成する予定です。次の100年に向けての第一歩としたいものです。

当組合も地域との関わりが大いにありますので共助、協同の輪を更に広げ、その役割を十分に果たせるよう引き続き取組んでまいります。

本年も地域並びに組合員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 新たな年を迎えて



姫路市民共済生活協同組合  
理事長

岡村 卓治

新年明けましておめでとうございます。  
新たな年を穏やかに迎えられることをあらためましてお喜び申し上げます。

一年という期間は長いようで、過ぎ去つてみると、年々足早に慌しく過ぎ去つて行くように感じる今日この頃です。

昨年も様々なことがあり、国内では熊本をはじめ、鳥取中部、福島沖など各地で地震災害が発生し、海外では英国のEU離脱、アメリカでの大統領選挙におけるトランプ氏の勝利など、予想とは全く違った結果になり、世界を大きく驚かせました。

また、「ポケモンGO」も社会現象となるくらい大ブレイクいたしました。

私も、子供に薦められて、少し遅ればせながらこのゲームに参加させていただきましたが、非常に考えられて作り込まれているという印象を受けました。

さらに、非常に細やかにシステム変更が随時なされており、このアフターケアが、世界中で流行することの原動力になったように感じました。

私どもの姫路市民共済も、適切なアフターケアが非常に重要であると認識し、事業の推進につきましても、常に組合員の皆様と向き合い、助け合いの精神を大切に、推進してまいりますので、本年もご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

西宮市民共済生活協同組合  
常務理事

岸本 正

## 5年先、10年先を見据えて

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

今年は、私が所属する地域の親子参加型素人劇団が結成されて35年目を迎えます。

2月に上演する作品は、昨年来から練習を重ねてきた鳴尾に伝わる民話の「鳴尾義民伝」を脚色したもので、舞台は豊臣秀吉が太閤の地位に就いた頃、天正19年の夏。稀にみる干ばつに苦しんだ鳴尾村の農民が、隣村の瓦林に流れる新川より水路を密かに通したことにより、近在の村を巻き込んだ大乱闘になり25名が死罪に処されたものの、永代水利権を得た天正北郷樋事件の史実を基にして、我が劇団風の子役を追加し創作した物語です。

上演するにあたり、全員で当時の鳴尾の歴史を調べ、水を引き込んだと伝わる四斗樽を持ち込み先人の苦勞を偲びました。芝居の台詞の中に「命よりも水が大事」との訴えに心打たれた奉行が幼い子供を抱えた父親を救おうとしますが「私が死罪となっても子供は5年も経てば畑仕事をする。10年も経てば村を盛り上げてくれる」と涙ながらに断る場面があります。

演出の職権で奪い取った「奉行」役の私はいつもこの場面で感動しもらい泣きします。

村を救うため命を賭した先人に恥じないように、地域の安全と安心を守るため5年先10年先を見据えた施策を展開していく事を念頭にあたり心新たに誓うものです。

兵庫労働共済生活協同組合  
専務理事

西谷 圭一

## 60年を迎えるにあたって

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ご家族共々新たな年を健やかに迎えにいられたと存じます。

さて、本年は標題の通り公私共60年の節目を迎えることとなります。

全労済は、2017年9月29日に私は2017年7月5日に60歳となります。

まず、全労済は近年の環境変化と共にここ8年事業のマイナス傾向が続いています。よってこの状況からの脱却に向けて、全労済として「事業の回復」を目指して、(組織改革・事業構造改革・意識改革) 3つの改革が実行されます。

組織改革では、全労済兵庫本部は全労済関西統括本部 兵庫推進本部という名称変更と共に事業推進の体制の見直しを行い労働者自主福祉運動を立ち上げ育てていただいた先人の思いを「不易と流行」という考え方をベースとしてまさかの際に不幸な組合員を一人も出さずに、笑顔で生活再建できる運動と事業を展開していきたいと考えます。

一方、私個人も60歳という節目を迎えるにあたり36年間全労済運動に携わってきた経験を如何に周囲に伝えていくかが課せられた課題だと思っております。

新年を迎えて、昨今無関心というより、自分以外ない、といった人が目立ってきたのではないのでしょうか。『よりよく生きる』ということは、自分中心に生きようとする傾向と闘うこと、相手の立場に立ってちょっと考える。

このことを全労済運動の原点と考え、皆様と共に事業の回復を目指していく所存です。

本年も地域並びに組合員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

近畿労働金庫  
兵庫地区統括本部  
本部長

本多 義弘

## 「生活の金融アドバイザー」として

明けましておめでとうございます。皆さま方には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、1月の日銀のマイナス金利導入発表に明け、「質」「量」に「マイナス金利」を加えた。3次元緩和の言葉も生まれました。海外でもイギリスEU離脱、近隣諸国の動向、アメリカ大統領選など、日本経済への影響を予感させる出来事が続きました。我々の既成概念を超える事象の多い一年であったと言えるでしょう。

経済報告では、ここ数カ月の国内景気基調判断を「緩やかな回復基調が続く」と据え置いています。シンクタンク等の多くが「個人消費は低迷が長期化」という分析を示し、私たちが日常の中で実感するとおり、消費者が豊かなくらしを享受するには至っていません。

このような状況下であるからこそ、福祉金融機関(へろうきん)の役割をしっかりと果たすべく、「金融面の生活応援アドバイザー」として、丁寧なご相談活動を展開してまいります。当金庫の共生促進事業として、第6次中期経営計画(2015〜2017年度)に「非営利・協同セクターとその構成メンバーへの労金商品・サービスの推進」を掲げており、本年も各生協の皆さんと積極的に対話の機会を持ち、互いの事業を生かした連携を模索する中で、各生協・組合員の皆さまに、当庫の事業や預金・融資商品をお知らせし利用を促進する活動を強化してまいります。

本年も引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 2016年度 兵庫県生協連 第4回理事会報告

【開催日時】 2016年12月5日(月) 午後2時～3時30分

【開催会場】 兵庫県民会館 12階「1201」

【出席者】 本田会長理事、高橋副会長理事、野間専務理事、板崎、新保、伴、大沼、藤井、岡田、西谷（以上、理事）、金丸、岡村（以上、監事）

### 協議事項

(1) 2016年度決算における「引当金の処理」及び「剰余金処分案の処理」（案）について

### 報告事項

(1) 2016年度上期監事監査実施報告

(2) 2017年「新春トップセミナー・賀詞交換会」（案）について

(3) 分野別生協（出席理事、監事）からの状況報告について

(4) 前回理事会～12月初旬までの兵協連行事、活動報告について

(5) その他 ・日本生協連「奨学金制度改善に向けた今後のすすめ方」について

・日本生協連「被爆者が訴える核兵器廃絶に向けた国際署名」の取り組みについて

・関西災害時物資供給協議会 設立総会（案）について

(6) 2016年～2017年10月までの「主要行事スケジュール」について

## 「保健・医療・福祉研究会」施設見学 報告

### 大阪いずみ市民生活協同組合

#### コープの高齢者総合ケアセンター「笑顔の里 松原」

11月29日(火)、「保健・医療・福祉研究会」の施設見学研修として、大阪いずみ市民生活協同組合 コープの高齢者総合ケアセンター「笑顔の里 松原」を訪問。福祉事業の取り組みと地域組合員の事業への関わりや次世代の担い手づくりについて知ることを目的に、「保健・医療・福祉研究会」メンバー8人と会員生協から1人、事務局3人の計12人が参加しました。

最初に常務理事 本多 敬 氏より、大阪いずみ市民生協の福祉政策・高齢者福祉事業政策について説明いただいた後、介護付有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅・デイサービス・多機能ホーム・ヘルパーステーションを見学しました。見学後の交流会では、講義と施設見学を受け、センター設立の経緯や地域包括ケアシステム、「生活リハビリ」の取り組み、今後の組合員の関わり（ボランティア）等、様々な質問があり、大阪いずみ市民生協福祉事業部長 黒岡 祐二 氏からは、今後の課題（在宅での介護をどれだけ支えることができるか）についてもお話しいただき、交流を深めました。



常務理事 本多 敬 氏



施設見学  
利用者さんがご  
自身で予定を決  
めボードに書き  
込みます



交流会

## 神戸医療生活協同組合

### よ〜いどん！集会

9月25日(日) 神戸医療生協創立55年・三つの輪(健康の輪・助け合いの輪・世直しの輪)提唱から30年の節目・そして2016年度生協強化月間のスタートを切る「よ〜いどん！集会」つなげよう人・まち・未来」が兵庫県農業会館で開催されました。参加者は474人と目標

400人を大きく上回る参加があり、人・人で会場があふれました。道上市事長から開会の挨拶後、鳥越俊太郎さんより自らの経験から世直しの輪を中心とした記念講演がありました。

(通信員 中西一真)



記念講演  
「ジャーナリストから見た三つの輪」



集会では、5つの支部から「つながりマップ」(地域の現状を地図上に可視化する)のモデル報告がありました

## 宝塚医療生活協同組合

### 職員、組合員の思いがひとつに…

### 「ひだまり会館」オープン

11月1日(火)、宝塚医療生協では一番大きな建物となる「ひだまり会館」がオープンしました。この建物の設計画がスタートしたのは2013年から。はじめは「お泊り機能がある建物」「検査機器の充実ができれば」など夢を語るころからはじまり、学習のため近隣の施設を見学したり、土地を探したりと、少しずつ具体化に向けた話し合いをしてきました。また、出資金集めと医療生協のPRも兼ねて、1万戸訪問行動もスタート。地道な活動を続けてきました。

建設運動が進む中で「資金繰りは大丈夫か?」「土地購入より今事業所のある土地を活用した方が」など、さまざまな意見もありましたが、建設会社が決まり、建物のイメージができあがり、少しずつ形になっていくにつれて、職員と組合員の気持ち一つになり、無事完成を迎えることができましたように思います。

このひだまり会館の魅力の一つとして「医療と介護の連携」がありま

す。医療分野である診療所と介護分野であるデイサービス、訪問介護、訪問看護、居宅支援事業所が一つの建物に入ること、より一人ひとりにあったサービスの提供が可能になりました。また、4Fには多目的スペースもあるため、趣味を共有したり、上映会をしたりと地域の組合員さんが集える場になれば、と考えています。複合施設であるさまざま強みを活かして、今後地域の健康を守る拠点となるよう、尽力してまいります。

(通信員 前田秀輔)



### 「ひょうごご女性未来会議」より

### はなな 縹賞を受賞しました

2016年11月12日(土)、「ひょうご女性未来会議 in あかし」が開催され、甲南大学生活協同組合・神戸薬科大学生活協同組合専務理事の内田真紀子が「ひょうご女性未来賞」を受賞し、ひょうご女性未来会議代表の清原桂子氏より賞状、井戸知事より記念メダル、神戸新聞社様より記念品のクリスタルガラスのトロフィーをいただきました。縹賞は、海の色のブルーの古称である縹色をイメージし、大きな目と広い心で次代を担う女性を応援する意味があります。

一人ずつ感想及び挨拶を求められ、縹賞受賞についてのお礼と、「輝く女性にいただける賞ではありませんが、経営者として、甲南、神戸薬科、甲南女子生協の輝く約300人の女性スタッフの輝きを反射して広げることができるとしての役割を担いたい。今後も周りを輝かせるために自分を磨いていきたい」と語りました。当日は授賞式のほか、明石での地域の取り組みの発表が多くあり、今

後の生協活動に取り入れ、活かすことも考えられる貴重な報告をたくさん聞くことができました。

(通信員 中谷満子)



写真 左から3番目



メダルとトロフィー

# フェニックス共済



フェニックス  
サポーター  
はぼたん

阪神・淡路大震災の教訓を活かして、兵庫県が創設し、実施する制度です。自然災害で損壊した住宅・家財の再建を支援します。

- 地震、津波、風水害、豪雪、竜巻などあらゆる自然災害が対象です。
- 住宅の築年数や構造などに関係なく、定額負担で定額給付です。
- 他の地震保険や共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

#### 住宅再建共済制度

年額5,000円で  
最大600万円給付!

プラス

#### 一部損壊特約

年額500円で  
補修時等に  
25万円給付!

#### 家財再建共済制度

年額1,500円で  
最大50万円給付!

申込書付パンフレットは、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局(簡易郵便局除く)にあります



兵庫県  
(復興支援課)



公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター ☎ 078-362-9400 (平日9:00 ~ 17:00)

フェニックス共済

検索

Fax 078-362-9405

## “共に働き、共に捧げる”協同組合の本質を学ぶ 兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」実践報告 Part.1

8月と9月の「虹の仲間づくりカレッジ」で、企画した「大学生に伝えたい食について」各班の実践（10～11月）を報告します。

### ◆企画名:「兵庫の魚を食べよう！～捌き方の基本を学ぶ～」～食べて守ろう兵庫の海～

10月22日(土)、コープこうべ生活文化センターで行われました。参加者は、甲南大学・神戸薬科大学の学生と兵庫県漁業共済組合、コープこうべ、阪神医療生活協同組合、JA兵庫中央会の役職員を含む14人。丸魚1匹を調理し、食することで魚料理を身近に感じてもらい、魚離れ・調理離れの解消を目指すことを目的に「おさかな講義」と兵庫県漁連さんに揃えていただいた明石・播磨漁港の魚（アジ・ツバス・サゴシ等）を使い、魚種選びからメニューを考え調理しました。また、家庭でも「魚料理に挑戦する！」事後課題に挑戦いただきました。



### ◆企画名:「べっぴん朝食」～兵庫県産のこだわり食材で素敵な1日を～

11月15日(火)～18日(金)、甲南大学生協、兵庫県森林組合連合会、JA共済連兵庫、兵庫県漁業協同組合連合会、コープこうべの役職員が企画。「しっかりと朝食を摂ってほしい」「地元兵庫の食材を知って、今後も食べてほしい」「日頃知ることのない海や森のことを知ってほしい」という思いから、甲南女子大学生協の食堂で、数量限定の朝食メニューとして「しらす丼」と「しらすカレー」を提供しました。開店前から行列となり、「兵庫県の米やしらすがこんなに美味しいとは！」という声が多数ありました。



次号では、12月の実践を報告します。

## 豊かな海は豊かな森づくりから ～「虹の仲間です森づくり」～

12月3日(土)、兵庫県内の協同組合4団体（生協、JA（農協）、JF（漁協）、Jforest（森林組合））で構成する兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）は、雌岡山（神出神社）で開催された「虹の仲間です森づくり」に参加。4団体の組合員や役職員、一般参加者あわせて、160人が森の除伐作業を行いました。この活動はJF兵庫漁連がコープこうべとの共催で実施。「豊かな森が豊かな海を育てます」を合言葉に、豊かな海を次の世代につないでいくため、平成18年より、森づくりに取り組んでいます。開会式で活動の経緯について、お話しいただいた後、8～9人のグループに分かれて「ひょうご森の倶楽部」活動リーダーより、森林が整備されることで多種多様な動植物が育ち、樹木から落ちた葉が、太陽の光と土の中の生き物の力で良質なたい肥になること、そこに降った雨が土の中で貯えられ徐々に川に流れ、海へ栄養たっぷりの水をおくことなど、森林の整備が必要な理由を伺いました。また、のこぎりや剪定ばさみを使って約2時間の除伐作業を行ない、薄暗かった森は、地面に太陽の光が届く明るい森になりました。

終了後の昼食では、巻き寿司、瀬戸内産のたこを使ったジェノベーゼ・やわらか煮・牡蠣のみそ汁をいただきながら消費者と生産者が交流しました。参加者からは「斜面での作業は大変だったが、森の中に光が入ることを実感できました」「山の栄養分が川から海に流れて海の生物が育つこと、循環することで森や海が豊かになることを知りました」などの感想が寄せられ、伐採体験を通して森や海への関心を深めました。



除伐の説明を受け作業する参加者



昼食交流会



## 第15回「税務・経理講習会」のご案内

税務経理の諸問題等についての合同の講習会とクラス別の講習で、生協の税務と経理の実務について学びます。

日 時：3月2日(木)・3日(金) 9時30分～18時

会 場：兵庫県民会館

受講料：会員生協：無料／関連子会社：お一人 5,000円 \*ただし、昼食代・テキスト代は実費を徴収します。

講 師：江藤 俊哉氏(税理士)、三宅 充氏(MMコンサルティング代表)、  
宮田 正樹氏(西宮市職員生活協同組合 統括部長)

クラス別講習内容：(1) 法人税基礎クラス(定員20名)

- ・内容：①税務・経理・財務管理の基本  
②簡単な設例に基づく税務申告書の書き方

(2) 法人税申告書作成クラス(定員10名)

- ・内容：①設例に基づく税務申告書の作成(演習含む)  
②上級者用設例による解説



昨年の様子

参加申し込み・お問い合わせ：兵庫県生協連 TEL. 078-391-8634

### 2016年度 ひょうご消費者セミナー

## スマホ・ケータイに使われていませんか？ ～情報という名の落とし穴～

9回目の開催となる、『2016年度ひょうご消費者セミナー』では、スマホ、SNS、インターネット、ゲーム機などの落とし穴について講演いただきます。講師は、NIT 情報技術推進ネットワークの篠原 嘉一さんです。また、適格消費者団体のこれまでに取り組んだ事例を紹介します。

◆と き：2017年3月1日(水) 10時～12時30分

◆と ころ：兵庫県農業共済会館7階大会議室

神戸市中央区下山手通4-15-3

(JR・阪神 元町駅より徒歩10分、地下鉄県庁前すぐ)

※兵庫県民会館 東隣りの建物です

〈講演〉

「スマホ・ケータイに使われていませんか？」

～情報という名の落とし穴～



篠原 嘉一氏 (NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社代表取締役)

これまで、情報セキュリティサポーターとして、教職員・PTA・生徒・行政企業研修・県警サイバー犯罪対策課・捜査本部研修など、ネット被害の現状を現実のものとして感じていただくため、講演活動を実施。



〈事例でわかる差止事例〉

\*NPO法人消費者支援機構関西(KC's) \*NPO法人ひょうご消費者ネット

◆参加費：無料 ◆定員：150名 ◆締切：2月15日(水)必着

※申し込み受け付けは先着順となります。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

◆保 育：無料(1歳半～未就学児) ※保育をご希望の場合は、お申込み時にご連絡ください。

◆申込方法：会員生協・団体名、お名前、電話番号をご記入の上、兵庫県生協連までFAX・電話・メールでお申込みください。

◆申込先：兵庫県生活協同組合連合会

TEL：078-391-8634 FAX：078-392-2059 e-mail：hyogo@kobe.coop.or.jp

◆主 催：コープこうべ、兵庫県生協連合会、ひょうご消費者ネット、消費者支援機構関西

◆後 援：兵庫県・神戸市 ※個人情報はセミナー以外の目的で使用いたしません。

## JF (一財)兵庫県水産振興基金

### たつの市立室津小学校で 郷土料理給食会

室津で水揚げされる新鮮な魚や地元の野菜を使った「郷土料理給食会」が11月22日(火)、たつの市立室津小学校で開催されました。この給食会はJF室津やJF室津女性部(高木友子部長)、地域の皆さんが町ぐるみで取り組んでおり今年で13回目になります。

今年は、地元食材を使ったシーフードカレーを中心としたメニューで、1・2年生がエビの殻むきと酢大根作成、3・4年生はかまどご飯づくりとイカのカット、5・6年生はシタビラメの3枚おろし・干物づくりを担当し、朝から準備に取り掛かりました。シタビラメを担当した5・6年生の児童たちは、同女性部員の指導のもと、次々に三枚おろしにした後、油で揚げ

て骨せんべいや唐揚げにしました。これまでの活動の成果が発揮され、見事に捌く子どもが多かったです。

手際良く調理され、お昼前には同校の体育館にシーフードカレー(シタビラメ、イカ、エビ入り)のほかに、沢山のおかずが出来ました。骨せんべい、酢大根、寒天、干物、ポテトサラダ、ヒジキ大豆、地元で伝統の「友君ようかん」など、室津産と郷土料理にこだわった品々が並びました。保護者、学校関係者、地域の皆さん、JF職員、幼稚園児たちが集まり、食事を楽しみました。また、給食会では児童が食について学んだことをスライドで紹介したあと、小学校の運動会などで代々歌い継がれている室津之唄(室のほこり)を同女性部メンバーが壇上に上がり披露しました。

室津小学校と同女性部が始めたこの会は、回を重ね、児童だけでなく地域の皆さんにも室津地区の地産地消や文化などを知ってもらえる行事として大きな役割を担っています。今後も地域の方々の協力を得て続けられていくことを期待します。



女性部員の指導のもと捌いていきます 地元産食材の給食が出来ました

## JA 兵庫中央会

### 兵庫県JA大会決議実践フォーラム・ 日本農業新聞兵庫県大会を開催

JA兵庫中央会と日本農業新聞は10月28日、県農業会館で、「兵庫県JA大会決議実践フォーラム・日本農業新聞兵庫県大会」を開催しました。「農協改革」に関する情勢が激動する中、県内のJAグループ役職員約90人が参加し、JA大会決議を実践し、自己改革に取り組むための情勢認識と意思統一を行いました。

中央会の石田正会長は、「自己改革の成果を着実に挙げていくことが必要。新時代を拓く3つのプロジェクトに取り組み、成果を挙げ、組合員や地域住民からしっかり評価していただくことが大事」とあいさつしました。また、稲葉洋副会長が、「農業者の所得増大と農業生産の拡大、そして地域の活性化の実現のため、組合員と共に、役職員の総力を挙げて大会決議の実践、自己改革に取り組む。そのため、日本農業新聞を普及・活用する」と申し合わせを行いました。

フォーラムでは、福岡県のJA糸島営農部の相田俊郎部長が、「糸島ブランドによるJA糸島ファンづくりの展開」、愛媛県のJAおちいまばり営農企画課の森康弘課長が、「元気な地域農業の復活!!～強い志が地域を元気にする～」と題して優良事例発表を行いました。また、経済評論家の三橋貴明さんが「これからの社会・経済情勢とJAの課題」と題して講演しました。



講演する三橋さん



最近の消費生活相談事例

## 匿名性利用した詐欺サイト

### 事例

「メールのやりとりで報酬金がもらえる」と記載の小遣いサイトに登録。登録費として電子ギフト券3千円分を購入、業者へギフト券番号をメールで送った。その後、報酬金の振込先の登録手数料や送金手数料が必要とメールが届き、ギフト券計7万円分を購入、ギフト券番号を送った。信用できるか。

### 【アドバイス】

「高額な報酬金を支払うのに必要」といろいろな理由づけをして料金を請求する詐欺サイトです。「簡単、誰でもできる」などと広告し、登録を促しますが、実際に報酬金が支払われることはありません。

相談者が指示された電子ギフト券は、総合オンラインストアで使えるサーバー型のプリペイドカードです。クレジットカードで代金を支払うと、相手のアドレスにギフトとして贈ることができるほか、自分宛てに贈ることもできます。そのギフト券番号を登録しておけば、ストア内での買い物に利用できます。

また、サーバー型のプリペイドカードはコンビニなどでも販売されており、多くの事業者が発行しています。

このプリペイドカードはサービスの利用時に現金を確認する手間がなく、氏名などの個人情報を入力する必要がないので匿名性が高く大変便利です。しかし、その匿名性を逆手に取り、プリペイドカードが悪用されるトラブルが後を絶ちません。

簡単に高額なお金を稼げるうまい話はありません。プリペイドカードや電子ギフト券を購入するよう指示する業者は危険です。だまされたことに気づいても、相手が番号を登録してしまえばお金を取り戻すことは困難です。番号を伝えることはプリペイドカードを譲ってしまうのと同じです。他人に指示されてプリペイドカードを購入したり、番号を教えたりしないようにしましょう。

困ったときは最寄りの消費生活相談窓口にご相談ください。（兵庫県生活科学総合センター）

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

## ヨッシーの窓

兵協連だよりをご覧のみなさま、あけましておめでとうございます。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

2017年のはじまりですね。無事、お正月を迎えることができました。気持ちも新たにがんばっていかうと思うのです。冬という季節がいつの間にかきて、陽が昇るのも随分とゆっくりとなっていますね。毎朝、布団の中から抜け出す時間も、少々、ゆっくりとなくなってしまっています。

さて、2月20日(月)、「地方消費者フォーラム in ひょうご」が兵庫県農業会館（神戸市中央区海岸通1番地）で開催されます。このフォーラムは、地域で消費者問題に携わる個人の方、消費者団体や行政の方が交流して連携を深めることのできるものです。毎年、とても多くの方が参加していて、みなさんのパワーに、私自身、たくさん元気をもらえる機会となっています。フォーラムの内容は、映画「チェンジメーカーズ」の上映、壁新聞交流、取組報告など、盛りだくさんです。元気をもらいたい方、参加してみたい方はいかがでしょうか。

（ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記）



連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

# MOVE

平成28年度地方消費者フォーラム in ひょうご

## 広げよう地域へ! つなげよう世代を超えて!

- 日時：平成29年2月20日(月)  
10時30分～16時20分(受付開始10時00分)
- 会場：兵庫県農業会館 神戸市中央区海岸通1番地  
TEL. 078-333-5951

●内容：

【上映会】10：30～11：40

### 映画『チェンジメーカーズ ～消費者の権利のための闘い』

タン・ミッシェル氏解説(日本語吹き替え・字幕付)

【全体会】

- 13：00～ 開会、消費者庁挨拶・取組報告
- 13：20～ 壁新聞リレー紹介
- 14：20～ 取組報告・フロア発言
- 15：10～ ワークショップ・発表
- 16：20 閉会

【交流会】

11：45～16：20 壁新聞交流会 「とと姉ちゃん」で話題、『暮しの手帖』展示あり!

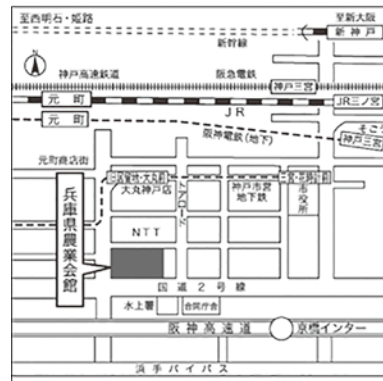
- 参加費：無料(定員250名)
- 申込方法：①お名前 ②フリガナ ③生協・団体名 ④上映会・全体会それぞれの参加有無  
⑤電話番号をメール・又はFAXでお申込みください。

- 申込先：NPO法人ひょうご消費者ネット「地方消費者フォーラムinひょうご」係  
メール chihou0220kobe@gmail.com  
FAX. 078-361-7205

- 申込締切：平成29年1月31日(火) ※お問い合わせは「地方消費者フォーラム近畿ブロック実行委員会事務局」  
TEL. 078-361-7201(月～金：13時～17時)

【主催】地方消費者フォーラム近畿ブロック実行委員会／消費者庁

【実行委員会参加団体・機関】滋賀県生活協同組合連合会、NPO法人消費者ネットしが、京都府生活協同組合連合会、NPO法人コンシューマーズ京都、全大阪消費者団体連絡会、大阪府生活協同組合連合会、なにわの消費者団体連絡会、NPO法人消費者支援機構関西、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 西日本支部、NPO法人なら消費者ねっと、奈良県生活協同組合連合会、消費者ネットワークわかやま、和歌山県生活協同組合連合会、公益社団法人全国消費生活相談員協会 関西支部、NPO法人消費者情報ネット、生活協同組合コープこうべ、兵庫県生活協同組合連合会、NPO法人C・キッズ・ネットワーク、NPO法人ひょうご消費者ネット、兵庫県、神戸市、消費者庁(以上、23団体・機関)



今回全体会に先立って、米国の消費者運動史をつづったドキュメンタリーフィルムを上映します。消費者問題に関わる皆様必見です。

## 県連日誌

- 1月7日(土) 新春トップセミナー(県民会館 福賀詞交換会 (県民会館 鶴)
- 1月16日(月) 兵協連監事と代表理事懇談会 (県民会館 ばら)
- 1月18日(水) 20日(金)、24日(火)～25日(水) 第12回初級経理学校 (県民会館 1001)
- 1月23日(月) 兵庫JCC第3回幹事会 (県民会館 ばら)
- 1月27日(金) 兵協連第5回生協活動委員会 (県民会館 ばら)

## 編集後記

街中は、クリスマス一色です。イルミネーションや赤・緑の組み合わせを見ると心が弾みます♪幼い頃、サンタさんのプレゼントがいつ届くか：夜中何度も起きて枕元を確認していた懐かしい記憶がよみがえりました。皆様は、クリスマス：年末年始いかがお過ごしでしょうか？編集後記に何を書くか、悩みの種ですが、普段使わない部分の脳を使ったり、忘れていたことを思い出させてくれたり、良い事もあるのだと思つた年末でした。

☆2017年が、みなさまにとって良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

今年も、兵協連と「兵協連だより」を、どうぞよろしくお願いたします。(大戸)

